総社市農業委員会の農地利用最適化推進委員の推薦を受けた者及び募集に応募した者に関する情報の公表（期間終了） 第1区

番号	申請形態	推薦を受けた者又は応募した者									推薦したもの									
								農業経営の状況			個人				団体					
		氏　名	性別	年齢	職業	区域	経歴	営農類型	耕作面積(a)	応募の理由	氏　名	性別	年齢	職業	組織の名称	代表者職・氏名	活動の主たる目的	構成員数	構成員の資格要件等	推薦の理由
1	応募	最相信雄	男	74	農業	１区	H25年12月 H28年12月 H29年１月 R5年8月1日～現在	総社中央公民館総社分館長 旭電気株式会社　退社 専業農家として就農 総社市農地利用最適化推進委員	水稲 果樹	110	令和５年から３年間総社市農地利用最適化推進委員として活動し地域の方との絆が出来，情報のやりとりもスムーズに出来るようになりました。今後もこの関係でより深い掘り起こし活動が出来ればと思い再度応募致します。										
2	応募	石尾弘	男	73	農業	１区	H26年8月1日～ H28年4月1日～ R2年8月1日～現在	農地流動化推進委員 黒尾山ノ鼻部落組合長 黒尾部落会計 農地利用最適化推進委員	水稲	17.3	当地区では，推進委員の担い手がなく引き続き行うものです。また，当地区でも高齢化が進み、遊休農地が増加すると思われるので，引き続き遊休農地の解消に努めるものです。										
3	応募	嘉原秀明	男	67	農業	1区	S57年4月1日 H27年4月1日 H31年3月31日 R5年4月1日 ～R7年3月31日 R6年3月31日 H8年～R6年 R6年～現在	岡山県農業協同組合中央会入会 岡山県農業協同組合中央会総務企画部長 岡山県農業協同組合中央会退職 井尻野山之端町内会会長 岡山県農業協同組合中央会嘱託職員退職 兼業農家として就農 専業農家として就農	露地野菜 果樹	23	農業をめぐる情勢は，高齢化，耕作放棄地の増加，資材の高騰化，気候変動による災害など様々な課題が山積しています。こうした中，これまで長年JA岡山中央会で培った経験を活かして活動したいと考えております。特に，農地利用の最適化の推進活動を通じて，地域の担い手への農地の集積や遊休農地の解消を図るとともに，高齢化や後継者不足を解消するため，後継者の育成など農業の活性化と地域の発展に貢献したいと考え応募しました。										
4	推薦	三村茂芳	男	67	農業	１区	S52年3月2日 R5年10月7日	岡山通運㈱　入社 岡山通運㈱　退職	水稲	138					西原町内会	会長 松井順一	町内会の発展	150	地区内に住所を有する者	地域の信頼もあり，人望があるため推薦します。
5	推薦	薬師寺正志	男	72	農業	1区	S51年3月 ～H23年9月 H25年4月 ～R6年2月 R2年3月13日～ R6年8月1日	堀江染工㈱　取締役工場長 ㈱紀文食品西日本事業部保全 特定非営利活動法人　こもれびの里　理事長 就労継続支援B型事業所　こもれびの里　管理者	水稲	526		茅原弘和	男	56	農業					水稲を主体に広く営農されています。耕作放棄地等，問題意識も高く，自身も地域の農地や環境の維持に大きく貢献されています。NPO法人の代表も務め，同法人では，農業を通じて地域に貢献する事業もされています。
6	応募	永野直樹	男	74	農業	１区	S41年4月～ H23年3月31日 R5年8月～	農業に従事，現在に至る 総社市シルバー人材センター入会 農地利用最適化推進委員	水稲	87	農地利用最適化推進委員の3年間の経験を生かして今後も取り組んでいきたい。									

7	応募	武田治紀	男	69	自営	１区	S49年4月 ～S50年8月 S50年8月 ～H2年12月 H2年12月～現在 令和5年8月	カバヤ食品岡山工場 自営業 自営業 農地利用最適化推進委員	露地野菜	30	現在の農業を取り巻く環境は，農地の減少，高齢化，担い手不足，温暖化による災害，高温障害等，非常に厳しい状況にあります。私は，今までの職業柄と農地利用最適化推進委員としての活動実績を活かして，地域に密着した現場活動を通じて上記のような地域課題の解決と持続的発展に尽力したく応募いたしました。									
8	応募	海野宏道	男	71	農業	１区	S47年4月1日 R2年3月31日 R2年4月１日～	電電公社入社 電電公社　定年退職 農業	水稲	120	推進委員活動を通じて地域の農業への貢献をしたい。新規就農者の推進等，地域の農業の課題解決等の協力。									

令和8年3月10日　現在

推薦を受けた者　　２名

応募した者　　６名